

TS-M2M-0005v2.0.0

oneM2M 技術仕様書 －OMA 仕様によるデバイス管理－

oneM2M Technical Specification －Management Enablement (OMA)－

サマリ（和文）：

アブストラクト：

本仕様書は oneM2M マネジメント要件を満たすため、 OMA(Open Mobile Alliance) DM(Device Management) と OMA LWM2M(Lightweight M2M) のリソースやメッセージフロー（通常時、異常時）の使い方を記述している。具体的な記述内容は以下の通りである。

- ・ OMA リソースと oneM2M リソースのマッピング
- ・ OMA と oneM2M サービス層のプロトコル変換。
- ・ oneM2M マネジメント要件を満たすための OMA リソース定義

目次：

1 章 所掌範囲（目的）

本仕様書は OMA で定義されている管理プロトコル（OMA DM と OMA LWM2M）と oneM2M サービス層のプロトコル変換やリソースのマッピングについて記述している。OMA DM としては、OMA DM 1.3 と OMA DM 2.0 を参照している。

2 章 引用文献

3 章 定義、略語と頭字語

4 章 表記法

5 章 OMA DM 1.3 と OMA DM 2.0

本章では、OMA DM 1.3 と OMA DM 2.0 の使い方を、以下の事項について記述している。

- ・リソース（データタイプ、識別子を含む）のマッピング
- ・プロトコル変換（CRUD 操作、各種コードのマッピング）
- ・管理サーバとの接続
- ・OMA DM における CMDH のリソース定義

6 章 OMA Lightweight M2M 1.0

本章では、OMA Lightweight M2M 1.0 の使い方を、以下の事項について記述している。

- ・リソース（データタイプ、識別子を含む）のマッピング
- ・プロトコル変換（CRUD 操作、各種コードのマッピング）
- ・管理サーバとの接続
- ・OMA LWM2M における CMDH のリソース定義

サマリ（英文）：

Abstract:

Specifies the usage of OMA DM and OMA LWM2M resources and the corresponding message flows including normal cases as well as error cases to fulfill the oneM2M management requirements.

- Mapping between the oneM2M management related resources and the resources from OMA.
- Protocol translation between the oneM2M service layer and OMA. The Mca reference point, ms interface and la interface are possibly involved in this protocol translation.
- Resource definitions in OMA to fulfill the oneM2M management requirements.

Scope:

The present document specifies the protocol translation and mappings between the oneM2M Service layer and the management technologies specified by OMA such as OMA DM 1.3, OMA DM 2.0 and OMA LightweightM2M. Note that OMA DM 1.3 and OMA DM 2.0 are collectively referenced as OMA DM in the present document.